

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公開番号】特開2011-25574(P2011-25574A)

【公開日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-006

【出願番号】特願2009-174747(P2009-174747)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 29/46 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 29/46 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月27日(2012.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体に記録されたテスト画像を読み取る画像読み取り工程と、
前記画像読み取り工程により読み取られた前記テスト画像から定常に発生するノイズ
を特定するノイズ特定工程と、

前記ノイズ特定工程により特定されたノイズに対応する補正データを作成する補正データ
作成工程と、

前記補正データに基づき画像データを補正する画像補正工程とを有することを特徴とする
濃度補正方法。

【請求項2】

前記ノイズ特定工程は、前記テスト画像を複数回印刷することによりノイズを特定する
ことを特徴とする請求項1に記載の濃度補正方法。

【請求項3】

前記ノイズ特定工程は、前記テスト画像に含まれるノイズを異なる周波数帯ごとに分け
て特定することを特徴とする請求項1に記載の濃度補正方法。

【請求項4】

前記補正データ作成工程では、前記ノイズ特定工程において特定されたノイズの周波数
帯を前記画像データから抽出する処理を行い、前記抽出されたデータに基づき補正データ
を作成することを特徴とする請求項3に記載の濃度補正方法。

【請求項5】

前記ノイズ特定工程は、前記テスト画像に含まれるノイズを異なる周波数帯ごとに分け
るとともに、異なる位置のパッチを組み合わせてノイズを特定することを特徴とする請求
項1に記載の濃度補正方法。

【請求項6】

記録媒体に記録されたテスト画像を読み取る画像読み取り手段と、
前記画像読み取り手段により読み取られた前記テスト画像から定常に発生するノイズ
を特定するノイズ特定手段と、

前記ノイズ特定手段により特定されたノイズに対応する補正データを作成する補正デー

タ作成手段と、

前記補正データに基づき画像データを補正する画像補正手段とを有することを特徴とする濃度補正装置。

【請求項 7】

前記ノイズ特定手段は、前記テスト画像を複数回印刷することによりノイズを特定することを特徴とする請求項 6 に記載の濃度補正装置。

【請求項 8】

前記ノイズ特定手段は、前記テスト画像に含まれるノイズを異なる周波数帯ごとに分けて特定することを特徴とする請求項 6 に記載の濃度補正装置。

【請求項 9】

前記補正データ作成手段は、前記ノイズ特定手段において特定されたノイズの周波数帯を前記画像データから抽出する処理を行い、前記抽出されたデータに基づき補正データを作成することを特徴とする請求項 8 に記載の濃度補正装置。

【請求項 10】

前記ノイズ特定手段は、前記テスト画像に含まれるノイズを異なる周波数帯ごとに分けるとともに、異なった位置のパッチを組み合わせてノイズを特定することを特徴とする請求項 6 に記載の濃度補正装置。

【請求項 11】

請求項 6 ~ 10 の何れか 1 項に記載の濃度補正装置を構成する各手段としてコンピュータを機能させることを特徴とするプログラム。